





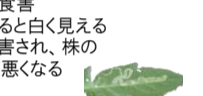
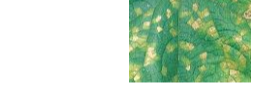





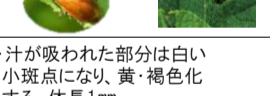

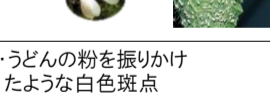








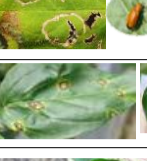

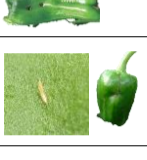



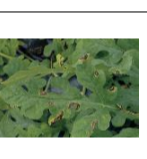




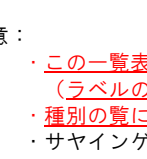
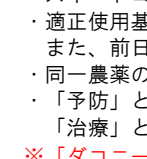
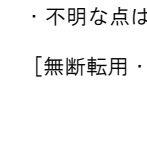



# 令和2年度 夏野菜病害虫別使用農薬一覧表

作物	症状	対象病害虫名	防除のポイント	使用農薬名	有効成分	種別・効果	希釈倍率	水10%の薬量 g・cc	適正使用基準	規格g・cc	価格
ト マ ト		疫 病	露地栽培では敷き藁やマルチングを行なう。いったん発病すると急激に蔓延するため、20℃前後で多湿の場合は予防防除を必ず行う。初発発生を確認したら、発病部分を取り除き、予防防除を行う。	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-4回 ※ (ミニトマト前日-2回)	250 500	1,020 1,750
				プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアザリカル・フィプロピル・TPN	普通物・予防治療	1,000~1,500 (ミニトマト1,500)	6.7~10.0 (ミニトマト6.7)	前日-3回 ※ (ミニトマト前日-2回)	100	750
				ランマンフロアブル	シアソファミド	普通物・予防	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-4回	100 500	1,030 4,680
				コサイド3000	銅水和剤	普通物・予防	1,000	10.0	—	500	1,970
ト マ ト		うどんこ病	圃場の除草管理を徹底する。早期防除に努める。薬剤散布は予防的に行ない、葉の裏面に農薬を散布する。	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-4回 ※ (ミニトマト前日-2回)	250	1,020
				サンヨール	DBEDC	普通物・予防	500~700	14.2~20.0	前日-4回	500	1,930
				カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物・予防治療	800~1,000	10.0~12.5	前日	250	960
ト マ ト		葉カビ病	通風しやすい株の配置や圃場の排水改善などにより、高湿度条件を避ける。農薬は葉裏に十分かかるように散布する。	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-4回 ※ (ミニトマト前日-2回)	250	1,020
				プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアザリカル・フィプロピル・TPN	普通物・予防治療	1,000~1,500 (ミニトマト1,500)	6.7~10.0 (ミニトマト6.7)	前日-3回 ※ (ミニトマト前日-2回)	100	750
				カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物・予防治療	800	12.5	前日	250	960
				ベンレート水和剤	ベノミル	普通物・予防治療	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-5回 (ミニトマト前日-3)	100 250	1,050 2,550
				トリフミン水和剤	トリフルミゾール	普通物・予防治療	3,000~5,000	2.0~3.3	前日-5回	100	1,260
				カルクロン	塩化カルシウム	—	200	50.0	—	500	360
ミ ニ ト マ ト		しり腐れ症	開花以降、重点的に果実へカルシウム補給を行なう。	(第1果房~第3果房の各第1花の開花期をねらって3回散布)							
				アファーム乳剤	エマメクテン安農香酸塩乳剤	普通物	2,000	5.0	前日-5回	100 250	2,200 4,730
				ブレオフロアブル	ピリダリル	普通物	1,000	10.0	前日-2回	100	1,030
ミ ニ ト マ ト		オオタバコガ	果実内に食入した中齢以降の幼虫は薬剤では防除できないので、早期発見、早期防除が大切。	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	普通物	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-3回	500	5,040
				アディオナ乳剤	ペルメトリン	普通物	2,000~3,000 (ミニトマト 3,000)	3.3~5.0 (ミニトマト3.3)	前日-3回 (ミニトマト前日-1回)	100	1,930
				ウララDF	フロニカミド	普通物	2,000~4,000	2.5~5.0	前日-3回	250	2,230
				モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	2,000	5.0	前日-3回	100 250	1,660 4,080
ミ ニ ト マ ト		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。苗期で白い羽を持つ小虫が飛ぶ場合は農薬散布を行なってから定植する。葉裏に群がるため、葉裏を重点的に防除する。	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100 500	860 3,980
				ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500	4.0	前日-2回	100	3,120
				ウララDF	フロニカミド	普通物	2,000	5.0	前日-3回	250	2,230
				アファーム乳剤	エマメクテン安農香酸塩乳剤	普通物	2,000	5.0	前日-5回	100	2,200
				モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	2,000	5.0	前日-3回	100	1,660
ミ ニ ト マ ト		ハモグリバエ類	苗による持込みに注意する。多発生後の防除は困難となることから、初期防除を徹底する。成熟葉を好むため、下葉を重点的に防除する。	ブレオフロアブル	ピリダリル	普通物	1,000	10.0	前日-2回	100	1,030
				カスケード乳剤	フルフェクスロン	普通物	2,000	5.0	前日-4回	250	5,260
				アファーム乳剤	エマメクテン安農香酸塩乳剤	普通物	2,000	5.0	前日-5回	100	2,200
				ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500~5,000	2.0~4.0	前日-2回	100	3,120
				ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-8回 ※	250	1,020
キ ュ ウ		べと病	降雨の予報ができれば、ただちに薬剤散布を実施し、べと病が圃場に蔓延する前に、早め早めに防除をきっちり行なう。	プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアザリカル・フィプロピル・TPN	普通物・予防治療	1,000~1,500	6.7~10.0	前日-3回 ※	100	750
				アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	普通物・予防治療	1,500~2,000	5.0~6.7	前日-4回	250	3,870
				カスミンボルドー	カスガマイシン・銅水和剤	普通物・予防治療	1,000	10.0	前日-5回	100	530
				コサイド3000	銅水和剤	普通物・予防	2,000	5.0	—	500	1,970
				カスミンボルドー	カスガマイシン・銅水和剤	普通物・予防治療	1,000	10.0	前日-5回	100 500	530 2,400
キ ュ ウ		斑点細菌病	育苗期に発生した病苗はただちに処分。多湿で、水滴を生じ落下する場所に発生しやすいため徹底防除を行う。	Zボルドー	銅水和剤	普通・予防	500	20.0	—	500	970
				ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-8回	250 500	1,020 1,750
				プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアザリカル・フィプロピル・TPN	普通物・予防治療	1,000	10.0	前日-3回	100	750
				トリフミン水和剤	トリフルミゾール	普通物・予防治療	3,000~5,000	2.0~3.3	前日-5回	100	1,260
キ ュ ウ		うどんこ病	発病は湿潤状態で抑えられ、乾燥状態で多発するので、乾燥が続く場合は予防農薬散布を行う。耐性菌が発生しやすいため、薬剤は同一系統剤の連用を避け、異なる系統の薬剤を散布する。	カスミンボルドー	カスガマイシン・銅水和剤	普通物・予防治療	1,000	10.0	前日-5回	100	530
				アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	普通物・予防治療	1,500~2,000	5.0~6.7	前日-4回	250	3,870
				スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100 500	860 3,980
				トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	前日-3回	100	950
				ウララDF	フロニカミド	普通物	2,000~4,000	2.5~5.0	前日-3回	250	2,230
				アディオナ乳剤	ペルメトリン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-3回	100	1,930
ウ リ		アブラムシ類	多発するとウイルス病が発生する。光反射シート(シルバーマルチ)、寒冷沙などの被覆資材を使用し物理的防除法を行なう。同一系統の薬剤の連用は避ける。	バイデートL粒剤	オキサミル	劇物	1~2.5g/株	—	育苗期-1回	3,000	1,500
				マラソン乳剤	マラソン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-3回	100 500	290 1,050
				ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100	1,320
				コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-3回	100 250	2,080 4,580
				マラソン乳剤	マラソン	普通物	1,000	10.0	前日-3回	100	290
				スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000	5.0	前日-2回	100	860
ウ リ		ウリハムシ	5月末~6月上旬に10株当たり30~40頭の成虫を確認したら、ただちに防除する。	アディオナ乳剤	ペルメトリン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-3回	100	1,930
				コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-3回	100	2,080
				スミチオン乳剤	MEP	普通物	1,000	10.0	前日-5回	100	360
				スタークル粒剤	ジノテフラン	普通物	2g/株	—	定植時-1回	1,000	1,200
				ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500~5,000	2.0~4.0	前日-2回	100	3,120
ウ リ		アザミウマ類	育苗期の粒剤処理、定植時のマルチ資材、定植後の薬剤散布の併用によって、収穫期までの防除は容易。	アファーム乳剤	エマメクテン安農香酸塩乳剤	普通物	2,000	5.0	前日-2回	100	2,200
				ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500	4.0	前日-2回	100	3,120
				ウララDF	フロニカミド	普通物	2,000	5.0	前日-3回	250	2,230
				スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100	860
				ハチハチ乳剤	トルフェンピラド	劇物	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-2回	100	1,170
ナ ス		うどんこ病	梅雨期の少雨、夏季の曇天・冷涼、初秋の低温乾燥などの天候不順で多発要因となるので、このような年は防除の徹底を図る。	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-4回	250	1,020
				ラリー水和剤	マイクロタニル	普通物・予防治療	4,000~6,000	1.7~2.5	前日-4回	100 250	1,410 3,240
				トリフミン水和剤	トリフルミゾール	普通物・予防治療	3,000~5,000	2.0~3.3	前日-5回	100	1,260
				アミスター20フロアブル	アゾキシストロビン	普通物・予防治療	2,000	5.0	前日-4回	250	3,870
				ウララDF	フロニカミド	普通物	2,000~4,000	2.5~5.0	前日-3回	250	2,230
				スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	3,000	3.3	前日-2回	100	860
				トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-3回	100 500	950 3,580
ナ ス		アブラムシ類	初発時には葉裏、生長点部に寄生し、発見が遅れがちとなる。増殖が速いため、収穫・栽培管理時に注意して早期発見に努め、小さなコロニーが見られ始めたらただちに薬剤を散布する。	マラソン乳剤	マラソン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-6回	100	290
				バイデートL粒剤	オキサミル	劇物	1.5~2.5g/株	—	育苗期-1回	3,000	1,500
				アファーム乳剤	エマメクテン安農香酸塩乳剤	普通物	2,000	5.0	前日-2回	100	2,200
				ニッソラン水和剤	ヘキシチアゾクス	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100	1,320
				マイトコーネフロアブル	ピフェナゼート	普通物	1,000	10.0	前日-1回	500	4,860
				コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-4回	100 250	2,080 4,580
ナ ス		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。葉の裏側に重点をおいて防除する。	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100	860
				トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	前日-3回	100 500	950 3,580
				ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500	4.0	前日-2回	100	3,120
				モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-3回	100	1,660
				コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-4回	100 250	2,080 4,580
				スミチオン乳剤	MEP	普通物	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-5回	100	360
ナ ス		テントウムシダマシ類	ジャガイモの近くには、定植しない。ジャガイモが収穫後、成虫の飛来が急激に増加するためその時期の防除を強化する。	アファーム乳剤	エマメクテン安農香酸塩乳剤	普通物	2,000	5.0	前日-2回	100	2,200
				コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-4回	100 250	2,080 4,580
ナ ス		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100	860
				トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	前日-3回	100 500	950 3,580
ナ ス		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。	ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500	4.0	前日-2回	100	3,120
				モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-3回	100	1,660
				コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-4回	100 250	2,080 4,580
				スミチオン乳剤	MEP	普通物	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-5回	100	360
ナ ス		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-2回	100	860
				トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	前日-3回	100 500	950 3,580
ナ ス		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。	ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500	4.0	前日-2回	100	3,120
				モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-3回	100	1,660
ナ ス		コナジラミ類	苗での持込み、発生に注意する。	コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-4回	100 250	2,080 4,580
				スミチオン乳剤	MEP	普通物	1,000~2,000	5.0~10.0	前日-5回	100	360



作物	症状	対象病害虫名	防除のポイント	使用農薬名	有効成分	種別・効果	希釈倍率	水10 <sup>リットル</sup> の薬量 g・cc	適正使用基準	規格 g・cc	価格
カボチャ		・葉のみに発生 ・丸みを帯びた黄色病斑	べと病	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	7日-3回 ※	250 500	920 1,750
				オーソサイド水和剤80	キャプタン	普通物・予防	600	16.7	14日-5回	500	1,782
				ランマンフロアブル	シアソファミド	普通物・予防	2,000	5.0	前日-3回	100	1,004
				プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアフリカルブリンプロピル・TPN	普通物・予防治療	1,000	10.0	7日-3回 ※	100	734
	・うどん粉のような白い粉が生じる。	うどんこ病	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	7日-3回 ※	250 500	920 1,750	
			トリフミン水和剤	トリフルミゾール	普通物・予防治療	3,000~5,000	2.0~3.3	前日-5回	100	1,150	
			カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物・予防治療	800~1,000	10.0~12.5	前日	250	939	
			ラリー水和剤	マイクロブタニル	普通物・予防治療	4,000~8,000	1.3~2.5	前日-3回	100 250	1,382 3,175	
	・半円形食害 ・体長7~9mm	ウリハムシ	マラソン乳剤	マラソン	普通物	1,000	10.0	前日-5回	100 500	270 1,026	
			モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-2回	100	1,750	
	・褐色不整形 ・褐色小斑点の病斑	黒枯病	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	1,000	10.0	前日-3回	250 500	920 1,750	
			トップジンM水和剤	チオファネートメチル	普通物・予防治療	4,000~6,000	1.7~2.5	前日-3回	250 500	1,050 2,050	
			スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	3,000	3.3	前日-2回	100 250	820 3,980	
			トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	前日-3回	100	850	
	・吸引部が黄化し葉が縮む。	アブラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-2回	100	1,750	
			バイデートL粒剤	オキサミル	劇物	1.5~2.5g/株	-	育苗期-1回	3,000	1,468	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	2,000	5.0	前日-5回	100	1,879	
			プレオフロアブル	ピリダリル	普通物	1,000	10.0	前日-2回	100	980	
	・果実に1~2mmの穴を開けて食害する。体長約4cm	タバコガ類	ランネット45DF	メソミル	劇物	1,000~2,000	5.0~10.0	14日-4回	100	950	
			スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000	5.0	前日-2回	100 500	820 3,980	
			ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500~5,000	2.0~4.0	前日-2回	100	2,980	
			モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-2回	100	1,750	
	・吸汁により葉の色がぬける。 ・果実は灰褐色のコルク化した食痕	アザミウマ類	スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000	5.0	前日-2回	100 500	820 3,980	
			ディアナSC	スピネトラム	普通物	2,500~5,000	2.0~4.0	前日-2回	100	2,980	
			モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	前日-2回	100	1,750	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	2,000	5.0	前日-5回	100	1,879	
	・線状の食害	アブラムシ類	アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	3,000	3.3	14日-3回	100	1,879	
			コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-2回	100	1,980	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	3,000	3.3	14日-3回	100	1,879	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	3,000	3.3	14日-3回	100	1,879	
	・穴をあけて食害。細かい黄褐色の糞を出	アズキノメイガ	アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	3,000	3.3	14日-3回	100	1,879	
			コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-2回	100	1,980	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	3,000	3.3	14日-3回	100	1,879	
			コテツフロアブル	クロルフェナピル	劇物	2,000	5.0	前日-2回	100	1,980	
	・葉の表面に白色粉状の円形病斑が発生	うどんこ病	サンヨール	DBEDC	普通物・予防	500	20.0	前日-4回	500	1,890	
			ベルコート水和剤	イミノクタジン	普通物・予防治療	1,000	10.0	前日-4回	100	831	
			カリグリーン	炭酸水素カリウム	普通物・予防治療	800~1,000	10.0~12.5	前日	250	939	
			ダコニール1000	TPN	普通物・予防	700~1,000	10.0~14.2	3日-5回 ※	250	920	
	・葉に褐色、大型の病斑ができる。 ・葉柄、茎は暗褐色の病斑に裂目ができ小黒粒ができる	つる枯病	ロブラール水和剤	イプロジオン	普通物・予防	1,000	10.0	前日-4回	100	1,134	
			オーソサイド水和剤80	キャプタン	普通物・予防	600	16.7	14日-5回	500	1,782	
			ペンレート水和剤	ベノミル	普通物・予防治療	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-5回	100	1,026	
			アミスター20フロアブル	アゾキシストロピン	普通物・予防治療	2,000	5.0	前日-4回	250	3,480	
	・葉・茎・果実に円形の褐色病斑。中心部は灰褐色にへこみ避ける。	炭そ病	ダコニール1000	TPN	普通物・予防	700	14.2	3日-5回 ※	250	920	
			オーソサイド水和剤80	キャプタン	普通物・予防	400~800	12.5~25.0	14日-5回	500	1,782	
			ペンレート水和剤	ベノミル	普通物・予防治療	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-5回	100	1,026	
			プロポーズ顆粒水和剤	ベンチアフリカルブリンプロピル・TPN	普通物・予防治療	1,000	10.0	3日-5回 ※	100	734	
	・茎と葉柄基部が褐変腐敗し、白色のカビが生える。 ・果実は褐変軟化腐敗し	菌核病	アミスター20フロアブル	アゾキシストロピン	普通物・予防治療	2,000	5.0	前日-4回	250	3,480	
			ロブラール水和剤	イプロジオン	普通物・予防	1,000	10.0	前日-4回	100	1,134	
			トップジンM水和剤	チオファネートメチル	普通物・予防	1,500~2,000	5.0~6.6	前日-5回	250	1,050	
			ベルコート水和剤	イミノクタジン	普通物・予防治療	1,000	10.0	前日-4回	100	831	
	・半円形食害 ・体長7~9mm	ウリハムシ	ペンレート水和剤	ベノミル	普通物・予防治療	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-5回	100	1,026	
			マラソン乳剤	マラソン	普通物	1,000	10.0	前日-6回	100	270	
			モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	4,000	2.5	3日-3回	100 250	1,750 3,950	
			トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	3日-3回	100	850	
	・葉がちぢれ、その下葉にすす病が発生	アブラムシ類	マラソン乳剤	マラソン	普通物	2,000~3,000	3.3~5.0	前日-6回	100	270	
			モスピラン顆粒水溶剤	アセタミプリド	劇物	2,000~4,000	2.5~5.0	3日-3回	100 250	1,750 3,950	
			トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	3日-3回	100	850	
			プレオフロアブル	ピリダリル	普通物	1,000	10.0	前日-2回	100	980	
	・葉をすかし状に食害する。多数の小さなイモムシが群生する。	ハスモンヨトウ	バシレックス水和剤	BT	普通物	500	20.0	発生初期ただし、収穫前日まで	100	961	
			トレボン乳剤	エトフェンブロックス	普通物	1,000	10.0	7日-4回	100	850	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	2,000	5.0	14日-4回	100	1,879	
			スミチオン乳剤	MEP	普通物	1,000	10.0	7日-4回	100	345	
	・葉裏に青緑色の成・幼虫群生する。 ・吸汁害により葉は不規則に縮む。	アブラムシ類	アグロスリン乳剤	シベルメトリン	劇物	1,000~2,000	5.0~10.0	7日-3回	500	4,536	
			スタークル顆粒水溶剤	ジノテフラン	普通物	2,000	5.0	前日-3回	100 500	820 3,980	
			アディオオン乳剤	ペルメトリン	普通物	3,000	3.3	14日-4回	100	1,879	
			アグロスリン乳剤	シベルメトリン	劇物	2,000	5.0	7日-3回	500	4,536	

○注意：  
 ・この一覧表は簡易的なものとしてご活用下さい。使用基準は2019年9月時点の登録になります。登録の変更等もございますので、必ず農薬使用時にはラベルをお確かめ下さい。  
 （ラベルの注意事項（登録作物・希釈倍率・適用害虫等）を、もう一度よくお確かめ下さい。）  
 ・種別の覧に劇物と記されている農薬の購入には、印鑑が必要です。（シヤチハタ不可）  
 ・サヤインゲンとは、未熟なさや付き豆を収穫するもの（ヒラザヤインゲン、モロッコインゲン等）を意味します。  
 ・スイートコーンとは、種子（ある程度成熟した雌穂）収穫するものを意味します。  
 ・適正使用基準の欄に記されている日数は、収穫何日前まで使用できるかの日数です。（例）30日と記されている農薬では、薬剤散布後30日間は収穫できません。  
 また、前日と記されている農薬では、散布した翌日（24時間後）から収穫ができます。  
 ・同一農薬の連用は、病虫害の抵抗性を強めます。複数の農薬をローテーション散布するよう努めましょう。  
 ・「予防」と記されている農薬は、発病前から使用しないと効果がありません。  
 「治療」と記されている農薬は、激発時には効果が劣るので早期防除を心がけましょう。  
 ※「ダコニール1000」「プロポーズ顆粒水和剤」の成分はTPN剤と同成分になります。各農薬の使用基準表の「TPNを含む農薬の総使用回の制限」を確認の上散布して下さい。  
 ・不明な点は、あいら伊豆農協 営農販売課（45-6585）へ、お問い合わせ下さい。

[無断転用・複製を禁止します]